

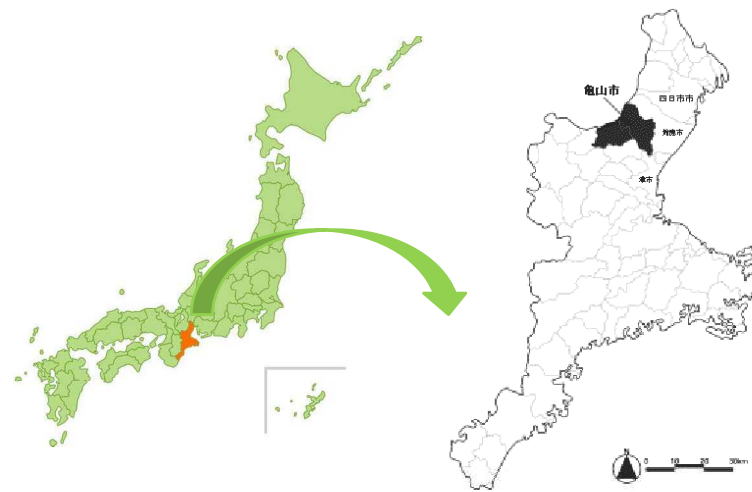


## 平成29年度 亀山市カリキュラム・マネジメント の在り方に関する調査研究報告



 三重県亀山市教育委員会

## 亀山市は・・・



 亀山市 歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健康 かめやま

## 亀山市は・・・



 亀山市 歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健康 かめやま

## 亀山市は・・・



 亀山市 歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健康 かめやま

# 亀山市は・・・



# 本日報告させていただくこと

1. 亀山市の学校の現状
2. 研究内容
3. 調査研究の検証方法
4. 調査研究を終えて

## 1. 亀山市の学校の現状

- ・ 小学校11校 児童数 計2911名
- ・ 中学校 3校 生徒数 計1281名
- ・ 特別支援学級 在籍143名（全体の3.4%）
- ・ 通級指導教室 5校（小学校4校、中学校1校）
- ・ 外国人児童・生徒数 129名（全体の3.1%）

## 1. 亀山市の学校の現状

【亀山市教育大綱より】

学びあふれる教育のまち かめやま  
～豊かな自然と歴史文化の中で、「ふるさと亀山」を受け継ぎ未来を拓く学び～



【亀山市学校教育ビジョンより】

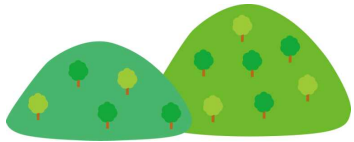
希望に輝く 心ゆたかな 亀山の子どもたち

# 1. 亀山市の学校の現状

## 基本目標3

～確かな学力を基盤とした生きる力をはぐくむ教育～

- (1) 子どもの学び力づくり
- (2) すべての子どもの可能性を広げる教育
- (3) 新しい時代に対応し、未来を拓く教育



# 1. 亀山市の学校の現状

## 全国学力・学習状況調査より

### 国語

「伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項」

全国と亀山市の平均正答率において、有意な差がある。



言語事項を中心とした  
計画的な学習を行う必要がある。

# 1. 亀山市の学校の現状

## 全国学力・学習状況調査より

### 児童質問紙

「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい。」

「外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたい。」

全国と比べて、肯定的な意見の割合が下回っている。



外国への興味・関心を  
高める取組みを行う必要がある。

# 1. 亀山市の学校の現状

## 学力向上推進計画

「書く力」の育成を軸とする学力向上の取組

- ・授業での『ふりかえり』活動の充実
- ・国語科スキル学習の実施
- ・家庭学習の充実

- ・ALTと共同した外国語科の取組
- ・ICTの効果的な活用



## 2. 研究内容

次期学習指導要領  
3年生から6年生 年間標準授業時数が35単位時間増加

カリキュラム・マネジメントの在り方

児童の学びの質の向上

児童や学校、地域の実態を踏まえた  
弾力性と恒常性のバランスのとれた時間割編成

## 2. 研究内容

次期学習指導要領  
3年生から6年生 年間標準授業時数が35単位時間増加

市内4校の実践校

- 亀山市立亀山東小学校
- 亀山市立亀山西小学校
- 亀山市立川崎小学校
- 亀山市立関小学校

## 2. 研究内容

亀山市立亀山東小学校

課題解決に向けた主体的・協働的な学びの推進事業  
(国立教育政策研究所)

言語活動の充実に関する実践研究

中学校英語の免許取得校長・教員が在籍

## 2. 研究内容

亀山市立亀山西小学校

外国人児童に対する日本語指導の拠点校

多文化共生教育

研修主任が英語中央研修への参加経験あり

## 2. 研究内容

亀山市立川崎小学校

学習ボランティアの充実

地域と協働した学校づくり



## 2. 研究内容

亀山市立関小学校

中学校英語の免許取得教員が在籍



## 2. 研究内容

### 【時間割編成】

次期学習指導要領

3年生から6年生 年間標準授業時数が35単位時間増加

45分授業のコマは増やさず、短時間の授業を設定



3・4年生  
国語科

5・6年生  
外国語科

## 2. 研究内容

### 【教科の選択理由】

3・4年生  
国語科

「書く力」をのばすための  
言語事項の定着



## 2. 研究内容

### 【教科の選択理由】

5・6年生  
外国語科



日常的に外国語に触れる

「亀山市の小学校で英語ボランティアを募集します。」

英語ボランティア  
Let's enjoy!

英語教育の充実により、小学校の英語の授業数が増えます。教員と一緒に子どもたちの英語学習のサポートをしていただけませんか。子どもたちが待っています！



詳細は 亀山市教育委員会 学校教育室 Tel.0595-84-5075 まで

小学校の英語の授業が増えます！

学習指導要領の改訂により、英語教育の充実が図られました。これにより小学校3・4年では外国語活動（英語）、5・6年では外国語科（英語）が必修となりました。授業時間数/単元の増加によりコマ数が増えます。授業では、英語であいさつをしたり、自己紹介をしたり、ゲームをしたりするなど英語を使ったコミュニケーション活動がさらに盛んになります。

英語ボランティアとは？

英語が堪能で、担当教員と連携、協力して外国語科（英語）や外国語活動（英語）の学習をサポートしていただける方

- 応募要件
  - ・学生時代に英語を習得された方
  - ・英語を使って働いたことがある方
  - ・一定期間留学経験がある方 など英語が堪能な方
- 活動校
  - 市内小学校
- 活動日時
  - 活動校と相談の上、決定します。
- 活動内容
  - （例）
  - ・コミュニケーション活動に参加し、必要に応じて担当教員や児童の支援を行います。
  - ・ネイティブスピーカーに近い発音で、会話のモデルを示します。
  - ・授業の内容に関わり、外国の文化、習慣等について英語で紹介します。
- 報酬
  - 無償となります。
- 申し込み
  - 下記の間い合わせ先までご連絡ください。

※第一志願校を1ヶ月としますが、その以降も募集いたします。

【問い合わせ先】  
亀山市教育委員会 学校教育室 Tel.0595-84-5075  
〒519-0195 亀山市本丸町517番地

## 2. 研究内容

### 【時間帯の設定】

〈例〉

パターン1（10分×週5回）

	月	火	水	木	金
朝の会・健康観察					
補充学習	10分	10分	10分	10分	10分
1 限					
2 限					
5 限			45分		
6 限	45分	45分	10分	45分	45分
短時間学習	10分	10分		10分	10分

## 2. 研究内容

### 【時間帯の設定】

〈例〉

パターン2（15分×週3回）

	月	火	水	木	金
朝の会・健康観察					
短時間学習	15分	補充学習	15分	補充学習	15分
1 限	45分		45分		45分











### 3. 調査研究の検証方法【国語科】

「書く力」の育成を軸とする学力向上の取組にかかる  
教員アンケート

○漢字(ひらがな・カタカナ)の読み書きの  
習得・定着について

○「書くこと」及び「伝統的な言語文化」や  
「言葉の特徴やきまり」に関する事項に  
ついて習得・定着について

### 3. 調査研究の検証方法【外国語科】

Talking Time  
(パフォーマンス評価)

知識・理解  
話す力・聞く力

例

教師) 外を指さしながら「How is the weather today?」

児童)

- ・It's sunny. →3点
- ・sunny. →2点
- ・間違った答えを言う。 →1点
- ・何も答えない。 →0点



### 3. 調査研究の検証方法【外国語科】

Unit Quiz

知識・理解  
聞く力

Unit quiz(5年生)

年 級 年 組

(1) 1 2 3

(2) 1 2 3

(3) 1 2 3

(4)

(5)

Unit quiz(6年生)

年 級 年 組

(1) 1 2 3

(2) 1 2 3

(3) 1 2 3

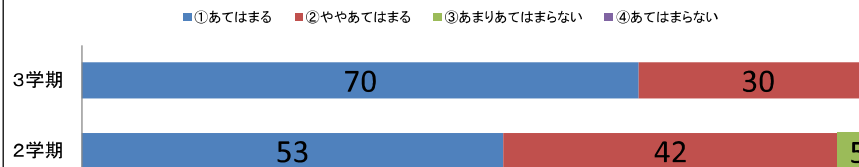
(4)

(5)

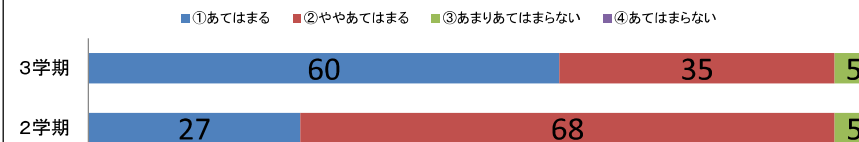
### 4. 調査研究を終えて【国語科】

教員の指導について

授業等で、漢字(ひらがな・カタカナ)の読み書きの習得・定着に取り組んでいる



授業等でその学年及びその学年までの「書くこと」及び「伝統的な言語文化」や「言葉の特徴やきまり」に関する事項について習得・定着に取り組んでいる。



## 4. 調査研究を終えて【国語科】

### 子どもの変容について

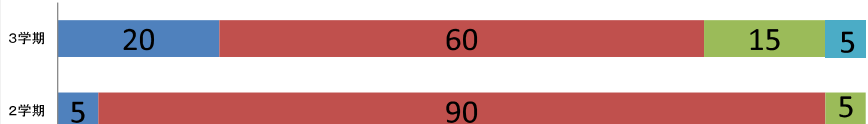
子どもたちは、その学年及びその学年までに学習する漢字(ひらがな・カタカナ)の読み書きを習得している。

■①あてはまる ■②ややあてはまる ■③あまりあてはまらない ■④あてはまらない



子どもたちは、その学年及びその学年までの「書くこと」及び「伝統的な言語文化」や「言葉の特徴やきまり」に関する事項について習得している。

■①あてはまる ■②ややあてはまる ■③あまりあてはまらない ■④あてはまらない ■無回答



## 4. 調査研究を終えて【国語科】

### 成果と課題

- ワークシートにより見通しが持て、集中して取り組むことができる。
- 漢字や言葉の特徴・きまり等の指導が効果的に行われ、子どもたちの力につながった。
- △ワークシートの進度の差に対して、どのように対応するか考えていく必要がある。
- △学習内容によって45分の授業とつなげて学習するなど、効果的な授業展開の工夫を行う。

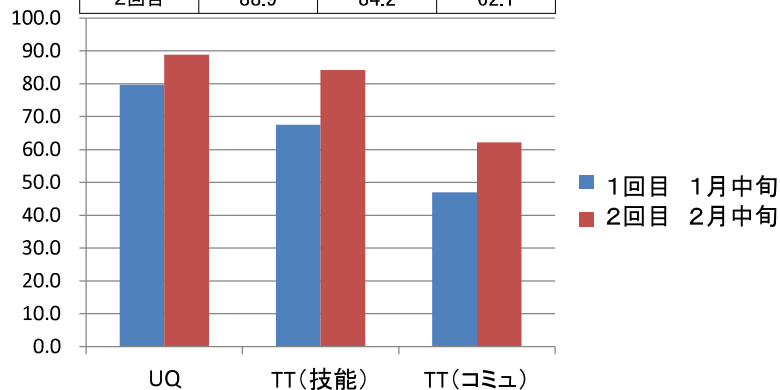
## 4. 調査研究を終えて【外国語科】

Talking Time. Unit Quizの結果

n=462

【単位：点】

合計	UQ	TT(技能)	TT(コミュ)
1回目	79.7	67.6	46.9
2回目	88.9	84.2	62.1



## 4. 調査研究を終えて【外国語科】

### 成果と課題

- 反復学習により子どもたちに達成感や自信を持たせることができた。
- 単語ではなく、文で答える姿や、定着が見られた。
- 「書く」ことに対する意欲が高まった。
- △Talking Time パフォーマンス評価の難しさ。
- △同じ教材を使うことは、子どもたちの実態に合わせた活用の工夫が必要である。



## 4. 調査研究を終えて

児童の学びに対する意欲



バランスのとれた  
時間割編成

